

そよかぜ No.17

◆◇人権講演会 (PTA 主催 教育講演会) 【2021.12.21】

「インターネット、SNS の楽しさの裏側に隠された人権侵害とは」

公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 中村 尚生 さん



今回はオンラインでの講演会でした。生徒・教職員のみなさんには各HRから、保護者のみなさんには各ご家庭から、聴いていただきました。「そういう感じ方、考え方、伝え方もあるんだな」と受けとめたうえでなら、一人ひとりの感じ方、考え方、気づき、思い…それぞれ違って良いと思います。みなさんの感想をいくつか紹介します。

講演会を聴いて

- 何が正しいのかわからなくなることがあるなあ。
- 今まで知らなかった実態を知ることができた。
- 社会でのストレスを吐き出したいのかもしれないけれど、誰かを傷つけるような方向にいったらダメだね。
- 自分が気をつけるのはもちろん、安易（あんい）に賛同しないようにしましょう。
- 自分を知ってもらえるし、離れていてもつながれる良いツールなんだけどな。
- 私は、SNS やインターネット前提の社会が気になってる。
- 「群集心理（ぐんしゅうしんり）」に陥（おちい）らないように気をつけなくちゃ。
- インターネットや SNS での危うさ。自分は分かってたつもりだったけど…。
- 言葉以外にも気をつけることはたくさんあるね。
- 会ったことない、知らない人から悪口や誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）を受けるのはとても怖いよ。
- 発信する前に書き込んだことを読み返して気をつけてきたけど、改めて意識しようと思う。
- 皆が解決したいと思うことが必要。
- 簡単に発信できるからこそ、気をつけないと痛い目を見る。考えさせられる機会だった。

2022年4月から、18歳で成年とみなされます。18歳になると、みなさん一人ひとりの責任が、これまで以上にかかってくるということです。話がそれますのでここでは詳しく書きませんが、これまでと変わることと、変わらないことがあります。ルールを守って、自分と周りの人を尊重して行動していく。このことが今後さらに求められるということでもあります。それは、生身の人間どうし、インターネットやSNS上での人間どうし、どちらも同じこと。昨年「そよかぜ No.8」で、大坂なおみ選手の言葉を載せながら伝えましたが、立場や年齢に関係なく、一人ひとりが「差別や誹謗中傷のある社会に反対する」行動を取れるよう意識していきたいですね。

飯野高校はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

